

白内障と診断されたら！

令和 6 年 9 月 足立秀一

白内障は、加齢に伴って発生する場合が最も一般的で、早ければ 40 歳から発症し、80 歳を超えるとほとんどの人が何等かの白内障の状態にあるといわれています。
放置さえしなければ基本的には失明する病気ではありません。

私は強い近視に加えて白内障を患い目の前が霞が掛かったようになり、8 年前に思い切って両目の白内障の手術を行いました。今は、眼鏡を掛けずに過ごしています。

その際に知った皆様が知って置いて頂く方が良いことを紹介させていただきます。

① 白内障について

まず、白内障とは、眼の中のレンズの役割をする水晶体が濁ってしまう病気で、手術を怖いと感じられる方もいらっしゃるかと思いますが、白内障手術は日本国内で一年間に 140 万件も行われているとてもポピュラーな手術です。総合病院や大学病院以外の一般の町の眼科でも広く行われており、入院を必要としない日帰り白内障手術が普及しています。
白内障手術は、眼の中の濁った水晶体を取り除き、その代りとなる人工のレンズを挿入する手術です。 麻酔も、多くの場合は眼のみの局所麻酔で済みます。
手術時間も短く、日帰り白内障手術を行っている眼科では、そのまま帰宅出来ます。
入院で手術しても 3 日ぐらいで済みます。

② 人工眼内レンズについて

眼内レンズには焦点がひとつの「単焦点眼内レンズ」と焦点が 2 つ以上ある「**多焦点眼内レンズ**」に分類されます。**(太字：誤記訂正)**
単焦点眼内レンズですが、これには 2 種類あり保険が適用されます。
一つは遠方を見やすくするレンズ。 近くを見る場合は老眼鏡等が必要です。
もう一つは近くが良く見えるレンズで、遠方を見る場合は、眼鏡が必要です。
どちらを選ぶかは、皆様の生活状況にも寄りますが、私の場合は、ゴルフで打った球の落ちどころを見たいと遠方に焦点を合わせたレンズを選びました。 読書などで近くを観る場合は 100 均の老眼鏡を使用しています。
多焦点眼内レンズは機能や費用にも違いがあり、保険取扱いの有無も眼科によって様々です。
どんなレンズを入れるかは医師の説明をよく聞きご自身で選択する必要があります。

③ 手術などの費用

白内障手術の費用は、保険適用で治療した場合、一般的に次のとおりです。

- 3割負担：約 50,000～60,000 円
- 2割負担：約 35,000～40,000 円
- 1割負担：約 20,000 円

高額療養費制度では、年齢や所得に応じて自己負担金に上限が設けられており、70 歳以上で年収 370 万円以下の方は、一か月に両眼の白内障手術をしても、上限は 1 万 8 千円程度になります。

④ 手術費用を抑えるために

高額療養費制度の自己負担限度額を有効に活用することです。

この自己負担限度額は、1 か月単位ですので月をまたがるとまた限度額まで負担が発生します。従って両目を手術されるなら同じ月内で、かつ通院のことを考慮すると月の初めごろに手術をされることをお勧めします。

⑤ 手術の季節

夏場など汗を掻きやすい時期ですと目に汗が入ったりと何かと気を遣わねばなりませんので汗を掻く夏場は避けると良いでしょう。

以上、お役に立てば幸いです。